

日商岩井大阪総務部に深謝申し上げる。
* 昭和五十七年六月十六日受理

The First Japanese Student of Chemical Engineering in the U. S.

** Fumitake Yoshida

〔略歴〕 大正二年生。昭和十二年京大・工・工業化学科卒。日立製作所勤務の後、二十一年京大助教、二十六年同教授、五十一年同名誉教授。この間三十八年カリフォルニア大、四十五年ペンシルバニア大各客員教授、五十四年全米工学アカデミー国外客員、工学博士。
趣味：写真、ハイキング。



今田純子絵(本号表紙の作者)

震災と鈴木商店 柳田義一

若い頃、鈴木商店の金子直吉の私設秘書みたいなことをやっていた。例の本店焼き打ちの時、米の買い占めの張本人みたいに言われましてね。流言飛語の恐ろしさをいやというほど味わいました。
全くのぬれぎぬですよ。ある新聞社が「下関で不足している外米を外国へ輸出しようとしている。この非常時になんたる悪徳商人」と書きたてたんです。事実は、米不足を憂慮した金子さんが、商売を度外視して輸入すると指令して、朝鮮米を大量に買い付けたのですよ。新聞記事とは全く逆の行為だったんですが、大衆にわかってもらえなかった。

震災の時、金子さんと川崎造船の松方さんが真つ先に救援船を東京へ送ったのも、あの事件が心にしみていたんでしょね。いわゆる大戦後の慢性不況で金融のやりくりが四苦八苦していた頃です。しかし企業は社会的責任を負っている。そんな感慨が二人にありましたね。もちろん荷主である金子、松方に気づぶで応えた上組も立派だったと思います。
残念ながら鈴木はその後倒産するわけですが、明治、大正の経営者であったのは「気骨」です。金子さんは人を育て、事業を残したけれど財産はゼロ。住居も終生借家でした。「国のためなら私を殺して働く」というむちゃに映る拡大路線に対して社員がみんなついていったのも、そんな金子哲学があったからこそでしょう。

村尾市松氏(上組元頭取)とは直接交渉はなかったけれど、明治男としての共通した魂があったように思います。
(太陽鉱工顧問・談)

徳末社長奮闘記

帝人 大屋後遺症乗り切る

大野 誠治 (雑誌「財界」編集長)



徳末知夫社長

▲つくすえ・ともお(正)三年の百生まれ。昭和三年神戸商大卒。同年帝人入社、企画部長、ニューヨーク出張所長を経て40年取締役就任。44年専務、47年専務、49年副社長。55年3月6日に死去した故大屋三朗社長の後を受け、同年4月社長に。いらいポスト大屋の帝人再建に全力をあげている。

「大屋三朗」の言葉の意味は、この頃、徳末氏が、
「広辞苑」に「徳末三朗」
「即日、徳末三朗、帝人を
一と名づけた。
徳末社長は、笑いながら、「
徳末三朗の漢文で書いたんです。
天子に向かって、大臣が言う言葉
ですがね。」

「大屋三朗」の言葉の意味は、この頃、徳末氏が、
「広辞苑」に「徳末三朗」
「即日、徳末三朗、帝人を
一と名づけた。
徳末社長は、笑いながら、「
徳末三朗の漢文で書いたんです。
天子に向かって、大臣が言う言葉
ですがね。」



大屋政子さん

「大屋三朗」の言葉の意味は、この頃、徳末氏が、
「広辞苑」に「徳末三朗」
「即日、徳末三朗、帝人を
一と名づけた。
徳末社長は、笑いながら、「
徳末三朗の漢文で書いたんです。
天子に向かって、大臣が言う言葉
ですがね。」

帝人 避もせな意外な力

「大屋三朗」の言葉の意味は、この頃、徳末氏が、
「広辞苑」に「徳末三朗」
「即日、徳末三朗、帝人を
一と名づけた。
徳末社長は、笑いながら、「
徳末三朗の漢文で書いたんです。
天子に向かって、大臣が言う言葉
ですがね。」

「大屋三朗」の言葉の意味は、この頃、徳末氏が、
「広辞苑」に「徳末三朗」
「即日、徳末三朗、帝人を
一と名づけた。
徳末社長は、笑いながら、「
徳末三朗の漢文で書いたんです。
天子に向かって、大臣が言う言葉
ですがね。」



故大屋三朗社長

不況時、辞表叩きつけ

超ワマンにツガビ

「大屋三朗」の言葉の意味は、この頃、徳末氏が、
「広辞苑」に「徳末三朗」
「即日、徳末三朗、帝人を
一と名づけた。
徳末社長は、笑いながら、「
徳末三朗の漢文で書いたんです。
天子に向かって、大臣が言う言葉
ですがね。」

「骸骨を乞う」で難関を突破

「大屋三朗」の言葉の意味は、この頃、徳末氏が、
「広辞苑」に「徳末三朗」
「即日、徳末三朗、帝人を
一と名づけた。
徳末社長は、笑いながら、「
徳末三朗の漢文で書いたんです。
天子に向かって、大臣が言う言葉
ですがね。」